

NEWS RELEASE

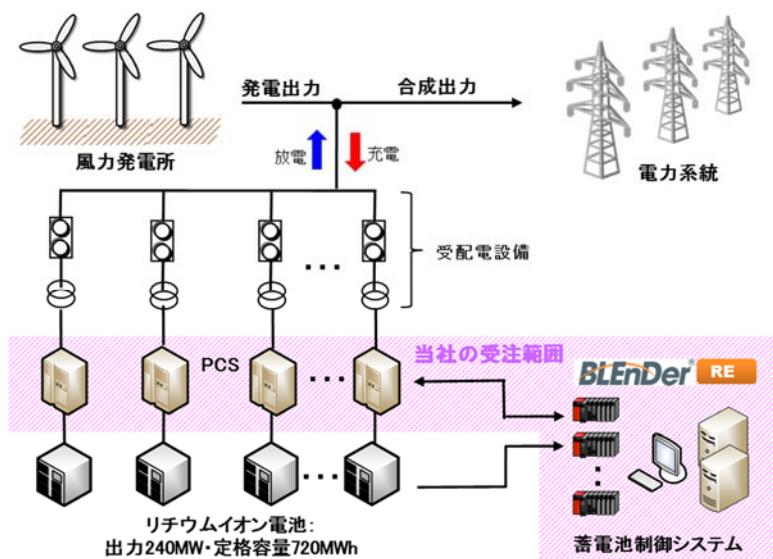
大規模風力発電での電力安定供給に貢献 世界最大級の蓄電池システム向け
蓄電池制御システムとパワーコンディショナー受注のお知らせ

三菱電機株式会社は、北海道北部風力送電株式会社（本社：北海道稚内市、代表取締役社長：伊藤 健）の「風力発電のための送電網整備の実証事業」^{*1}における蓄電池システムの設計・調達・建設（EPC）を遂行する千代田化工建設株式会社から、蓄電池の監視制御を行う蓄電池制御システム「BLEnDer® RE（ブレンダー・アールイー）」とパワーコンディショナー（以下、PCS）を受注しましたのでお知らせします。

「BLEnDer® RE」とPCSは、北海道北部風力送電株式会社の北豊富変電所（北海道天塩郡豊富町、2022年度稼働開始予定）に建設される世界最大級^{*2}の蓄電池システム（出力240MW、定格容量720MWh）に導入される予定です。

※1：経済産業省資源エネルギー庁が公募し、北海道北部風力送電株式会社が採択されたもの

※2：2018年11月19日現在 当社調べ



本実証事業における蓄電池設備と当社の受注範囲

本実証事業について

北海道北部は、風況が良く、広大な土地が必要な風力発電所の建設に適しており、現在、再生可能エネルギー発電事業者から多くの建設申請が行われている地域です。風力発電所の増加に伴い、風力発電による発電量の変動が需給バランスに与える影響が大きくなるため、安定した電力供給の維持には、送電網の強化や需給バランスの改善に寄与する蓄電池の導入が必要です。

本実証事業では、北海道北部の系統に設置される大規模な風力発電所群（500MW以上）に対応するため、北海道北部風力送電株式会社が風力発電用送変電設備と大容量蓄電池設備を導入し、風力発電電力の安定供給を目指しています。

「BLEnDer® RE」について

「BLEnDer® RE」は、再生可能エネルギー発電システムの電力需給において、蓄電池の監視制御を行うエネルギー・マネジメントシステムです。当社がこれまで培ってきた信頼性の高い蓄電池制御技術により、再生可能エネルギーの発電による余剰などの需給アンバランスを改善し、他地域よりも厳しい北海道の系統連系要件^{*3}にも対応することで、安定した電力需給に寄与します。

※3：自家発電（太陽光発電、風力発電）システムで発電した電力の売電を行うために、電力会社の系統（電力網）に接続する際の要件

商標関連

「BLEnDer」は三菱電機株式会社の登録商標です。

製品担当

三菱電機株式会社 電力システム製作所
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番5号
横浜アイマークプレイス4階 電力ICTセンター

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 電力流通システム事業部 電力流通システム計画部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
E-mail : tdm.pgs@nb.MitsubishiElectric.co.jp